

# PROTECTON インテリアウォールVK-200

## ■ 塗り重ね乾燥時間

	5～10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	5時間以上	2時間以上	1時間以上

・乾燥時間は目安です。  
・使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## ■ 容量・荷姿

容量	15kg、3kg
色相	淡彩
つや	つや消し
規格	JIS K 5663 2種相当*

\*該当規格の性能を満たしています。  
(社内試験)

## ■ 塗膜性能

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障があつてはならない。	合格
低温安定性（-5℃）	変質してはならない。	合格
乾燥時間（h）	標準状態 2以下 / 5℃ 4以下	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
隠ぺい率（%）白及び淡彩	95以上	合格
耐アルカリ性	18時間浸したとき異常がないものとする。	合格
耐洗浄性	100回の洗浄に耐えるものとする。	合格
抗菌性	フィルム密着法による菌数測定。(JIS Z 2801に基づく)	合格
抗ウイルス性	フィルム密着法によるバクテリオファージ感染価測定。(JIS R 1756に基づく)	合格
TVOC	標準圧力で、沸点または開始点が、250℃以下の化学物質量が、1%以下であること。 (日本塗料工業会の室内用建築用塗料の目標基準)	合格
臭気	従来品と比べ、極めて少ないこと。(社内規格)	合格
ホルムアルデヒド吸着性	吸着が認められること。(社内規格)	合格

## 施工上の要点と注意事項 ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じるがありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけは、はげが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- 本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗りと2回塗りでは仕上がりが異なります。
- つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がありませんので、試し塗りをしてから本施工してください。
- 繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には塗装できません。
- 吸音板塗替え用顔料分塗材(シールマットⅡなど)の塗り替えには使用できません。
- 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペファイン浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。
- やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗表面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗表面を十分乾燥させてから塗装してください。
- 下地にタバコやに汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーⅡを塗装してください。
- 塩化ビニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスは接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってことがありますので、クロスのお合わせ部などはあらかじめ接着剤などで押さえておくことが安心です。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製OH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製HI500シリーズ;コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。  
内壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 準外部への適用はお避けください。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はげ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はげ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工され水をかけると著しくクロス)には塗装できません。塩ビクロスで可塑剤移行が考えられる場合は所定の仕様で塗装してください。
- ローラー、はげなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項 [ PROTECTON インテリアウォールVK-200 ] 横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を入手してください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
- 口をすすいでください。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けてください。
- 施錠して保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく露しないでください。
- 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 容器、塗装具を洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。

■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。 ■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

危険	危険有害性情報
	発がんのおそれ/臓器の障害(単回ばく露)/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180  
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2020 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-Y070
AA201008T

2020年10月現在

# PROTECTON インテリアウォール VK-200

室内用高機能(抗ウイルス・抗菌・低臭)塗料



ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料



Basic & New

NIPPON PAINT CO.,LTD.

まもるべき未来のために、  
そのペイントテクノロジーは生まれた。  
[プロテクトン]



ウイルスとともに生きる。そう言われる時代に、人びとの健康をまもりたい。安全で快適な未来をつくっていききたい。

そのためにペイントは、従来の概念を超えるイノベーションが必要でした。

日本ペイントホールディングスが新たに開発した[プロテクトン]。例えば、光触媒により太陽光や室内の照明に反応して、

塗膜表面に付着したウイルス・細菌を抑制する先進の機能を実現。今後、塗料製品にとどまらず、

あらゆるシーンにお応えできるよう形を変えて広がっていきます。プロテクトン、そのテクノロジーは進化しつづける。

リスクに備えるために。あなたの新しい日常に寄り添い、たいせつな人をまもるために。

## 塗膜表面に付着したウイルス・細菌99%※抑制。

※全てのウイルスや菌あるいは特定のウイルスや菌に対する効果を保証するものではありません。  
また、病気の予防や治療効果を示すものではありません。

## 塗るだけで、塗膜表面に付着したウイルスや菌を抑制



※本製品は、全ての菌やウイルスあるいは特定の菌やウイルスに対する効果を保証するものではありません。また、病気の予防や治療効果を示すものではありません。  
注)被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により性能に差異が生じることがあります。

### ■ 用途

マンション・戸建・教育施設・商業施設・病院など  
抗ウイルス・抗菌対策が求められる建物内部壁面に最適

### ■ 適用下地

塩化ビニールクロス・コンクリート・モルタル・プラスターボード

### ■ 標準塗装仕様

#### ● 新設

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー	透明	1	0.10~0.16 注)	4時間以上	無希釈	はけ・ウールローラー
		ホワイ				水道水	
上塗り	PROTECTON インテリアウォール VK-200	2	0.12~0.14 注)	2時間以上	水道水	0~7	はけ・ウールローラー
			0.13~0.15 注)			5~15	

※下塗りには、水性透明シーラー、水性ホワイシーラーも使用できます。

#### ● 塗り替え(旧塗膜・塩化ビニールクロス面)

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	旧塗膜・塩ビクロスなどのめくれ、浮き、はがれなどは十分に補修し、汚れ、ゴミなどの付着阻害物は、中性洗剤やペーパーなどで除去し、水拭き後乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性シミ止めシーラーⅡ	1	0.11~0.13 注)	4時間以上	水道水	0~5	はけ・ウールローラー
上塗り	PROTECTON インテリアウォール VK-200	2	0.12~0.14 注)	2時間以上	水道水	0~7	はけ・ウールローラー
			0.13~0.15 注)			5~15	

※下塗りには、水性カチオンシーラー(透明・ホワイ)も使用できます。(下地が旧塗膜の場合)

注)

■「ニッペ水性カチオンシーラー(透明・ホワイ)」の塗り付け量は0.09kg/m<sup>2</sup>/回です。■「PROTECTON インテリアウォール VK-200」の塗り付け量は0.10kg/m<sup>2</sup>/回です。■「ニッペ水性シミ止めシーラーⅡ」の塗り付け量は0.09kg/m<sup>2</sup>/回です。■使用量:被塗面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ■塗り付け量:被塗面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量 ■風化面、吸込み面の著しい下地では、ニッペファイン浸透シーラー、ニッペファインパーフェクトシーラーをご使用ください。■カタログに記載されている内容は、一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場、部位に塗装される場合は事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。

※上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。  
※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。